

指定管理者評価シート

一 管理運営の状況

1 施設名	仙台市大野田老人福祉センター		
2 指定管理者	社会福祉法人仙台市社会福祉協議会		
3 指定期間	令和3年4月1日～令和8年3月31日		
4 施設の利用状況	《利用者数》 ・令和3年度 18,752人（前年度比 128.5%） ・令和2年度 14,590人（前年度比 42.3%） ・令和元年度 34,461人（前年度比 90.1%）		
	《事業》 ・市内に住所を有する60歳以上の高齢者に対し、各種の相談に応ずるとともに、健康の増進、教養の向上及びレクリエーションのための便宜を総合的に供与する。		
5 収支の状況	《費用》		()は前年度決算額
	・ 指定管理者に支払った費用	28,128千円 (31,138千円)	
	・ その他市が負担した費用	0千円 (440千円)	
	《収入》		
	・ 使用料収入	0千円 (0千円)	
	・ その他収入	0千円 (0千円)	
6 利用者の声	《実施状況》 ・ 令和4年2月に利用者アンケートを実施した。また、管理運営委員会、地域委員会、センター独自アンケート等を実施した。		

二 管理運営に係る評価（モニタリングシートの結果によって評価）

評価分野	所見	評価
I 総則	老人福祉センターの設置目的を踏まえた基本方針に基づき施設運営がなされており、職員も設置目的を適切に理解している。 また、利用者の健康づくりや、公平・公正な利用、高齢者の特性を理解したうえでの心身への配慮に努めるなど、利用者本位の施設運営を行っている。	33/33
II 施設の運営管理体制	必要数の職員が配置されており、職員間では円滑な連携が図られ、適切に運営されている。経理書類も適正に作成されている。 また、個人情報の漏洩や滅失を防止するため、管理責任者を定め職員への周知等の意識啓発を行うなど、個人情報保護に対する体制を整えている。 事故や災害の発生に備え、対応マニュアルの策定、連絡体制の構築、併設の児童館やコミュニティ・センターとの合同防災訓練等の取り組みを行っている。	24/24
III 施設・設備の維持管理	利用者の安全・安心・快適な利用を維持するため、施設内外の清掃を適切に行い、事故防止のための館内巡回も行われている。 また、節電やごみ発生の抑制、グリーン購入を実施するなど、環境に配慮した施設運営を行っている。	24/24
IV サービスの質の向上	利用者が気持ちよく利用できるよう、丁寧な応対と分かりやすい説明を心がけている。また、毎月のセンターだより発行など、利用者への情報提供や施設のPRも積極的に行っている。 さらに、利用者の意見や苦情に対し、その対応手順や担当者を明確にするとともに、市が実施する利用者アンケートの他にも独自アンケートを実施してニーズを把握するなど、利用者の意見を反映した施設運営に意欲的に取り組んでいる。	28/28
V 施設固有の基準	高齢者が自ら学んだことを発表する機会の設定を積極的に行なっており、利用者の主体的な企画実施に対する支援も行っている。 また、利用者の代表者や地域で構成する委員会を開催し、利用者が施設運営に関わる仕組みづくりを推進しており、利用者意見を取り入れた企画の立案を行っている。	9/9

三 評価総括

《指定管理者（社会福祉法人仙台市社会福祉協議会）による自己評価》

令和3年度も新型コロナウイルス感染拡大予防のため期間：4/1～5/11と期間8/30～9/13まで臨時休館となった。また、令和2年度同様密を避けるため入浴・趣味の教室や愛好会活動・行事・講座の見送りまたは人数制限をせざるを得ない状況だったが、手指消毒用のディスペンサーの追加設置、大型工業用扇風機による換気などコロナ感染予防対策に万全を期した。また、看護師による健康・生活相談の取り組みをアピールし、相談件数は前年の1.8倍となった。以上のような受入れ態勢を整えたことは、利用者に安心・安全に利用できる施設であることを十分に認知してもらえたものと思われる。また、それに加えコロナ感染が拡大している状況だからこそ、発想の転換と様々な斬新なアイデアを活用し、新たな事業に差替えて新規事業を企画した。例えばコロナ感染流行以前だと「大野田喫茶」という愛唱歌・抒情歌・童謡などを歌う、毎回60名程の参加人数があった講座に替えて、「フォークソングを歌う会」「昭和大ヒット歌謡曲鑑賞会」「平成カラオケランキング鑑賞会」やその他「アロマセラピースプレー作り」「情動療法 朗読会」「堤人形絵付け体験」など新規事業も展開した。また、60代から70代前半の方々に興味を持っていただけるような講座を企画した結果、169人の新たな施設利用者を増やすことができた。新規利用者169人の内127人は60代と70代であった。コロナ感染拡大のため行き場のない高齢者、またフレイル(虚弱)予防が必要な高齢者に多岐にわたる企画で大いに施設利用を促した結果である。

《施設設置者（仙台市）による評価》

令和3年度の管理運営について、協定書及び仕様書に従って適切・良好に行われた。
コロナウイルス感染症予防として、手指消毒用のディスペンサーの追加設置、大型工業用扇風機による換気などの取り組みを行うなど感染症対策も積極的に行っている。コロナ禍における、高齢者の不安等に対応するために、看護師による健康・生活相談の取り組みをアピールし、相談件数は前年の1.8倍となった。
前年度に引き続き認知症予防や介護予防に関する事業に力を入れており、各種講座を工夫を凝らして実施している。新規事業として「フォークソングを歌う会」「昭和大ヒット歌謡曲鑑賞会」「平成カラオケランキング鑑賞会」やその他「アロマセラピースプレー作り」「情動療法 朗読会」「堤人形絵付け体験」などを開講し、新規受講者の獲得に繋げている。コロナウイルス感染症拡大のため行き場の失った高齢者、またフレイル(虚弱)予防が必要な高齢者に多岐にわたる企画を実施しており、総合的に高く評価できる。

総合評価

S

四 その他特記事項（上記評価項目の他に、指定管理者の優れた取り組み等、特に記載すべき事項があれば記載する）

特記事項

◎ 評価担当課（施設所管課）：健康福祉局保険高齢部高齢企画課